



広報 おおの

第9回県オフロードジャンボリー

森山スキー場で迫カレース



主な内容

	ページ
救急特集……………	2～3
広報600号……………	4
市長へのメッセージ…	5
日独スポーツ交流……	6
市民のページ……………	10～11
お知らせ……………	14～15

平成7年(1995年)

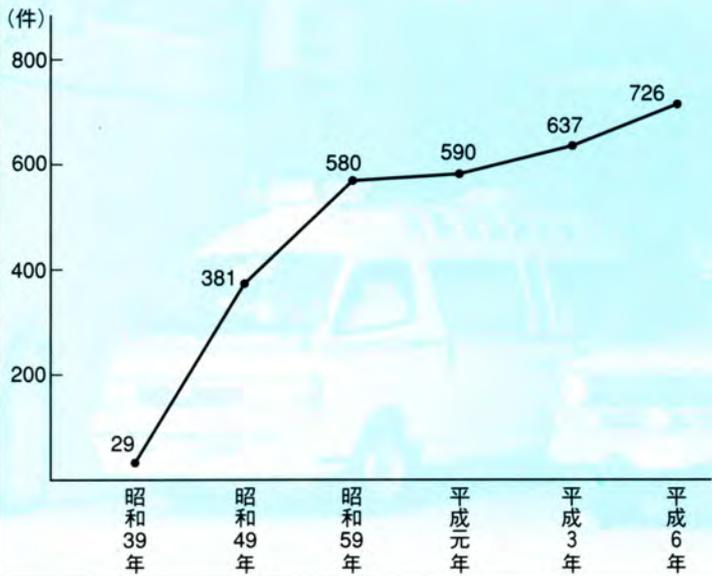
9月号
No.600

救急業務のアンケート結果まとまる

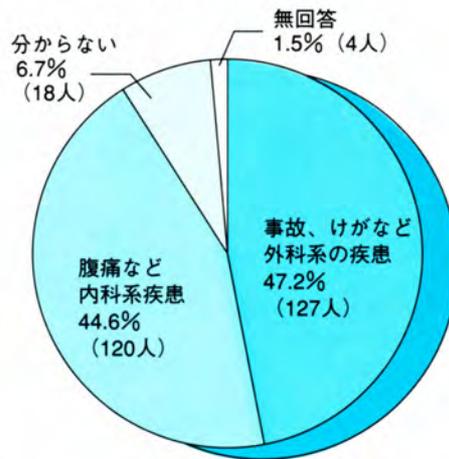
市民のニーズを把握し、体制の充実強化に役立て

年々、増え続ける救急車の出動件数。昨年一年間の救急出動は726件、751人となり、昭和39年に救急業務を始めて以来、最高を記録しました。こうしたことから大野地区消防本部は、市民の救急ニーズを把握し施策に反映させようと、昨年中に救急車を利用した人を対象に意識調査を実施しました。今月は、このアンケート結果を中心に、救急活動について特集しました。

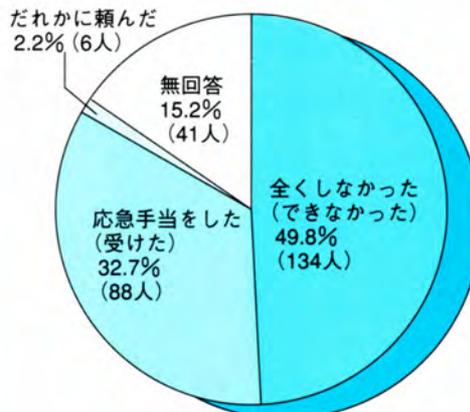
救急出動件数の推移 (大野市・和泉村)



救急車を要請した理由



救急車が来るまでの応急手当



事故やけがが四七・二%

今回の調査対象は、昨年に救急車を利用した493人で、うち269人から回答がありました。回収率は五四・六%です。

設問は救急車を利用したときの状況や意見など22項目です。まず、救急車を要請した理由では、事故やけがなどの外科系の疾患がトップで四七・二%。次いで内科系が四四・六%となっています。さらに、内科系で救急車を利用した人に依頼するまでの

経過を尋ねたところ、「急に苦しくなった」人が四七・八%、

次いで「医療機関に掛かっていったが容態が悪化した」人が四一・三%です。「兆候があつて我慢していた」が、我慢しきれずに依頼した例も八・〇%ありました。この場合は、早めに自分で診療を受けていれば、救急車の世話にはならなかつたと思われま

す。通報した人は家族三四・二%、その場に居合わせた人二三・〇%で、だれが通報したのか分からないも一〇・八%ありました。

9月9日は「救急の日」

用件は正しくあわてず119番

救急車を呼ぶときの3つのポイント

1. 火事か救急かをまず第1に
2. 救急事故などの発生場所と近くの目標
3. どのようなけがや病気か (現在の容態)



救急法を学ぶ尚徳中生徒

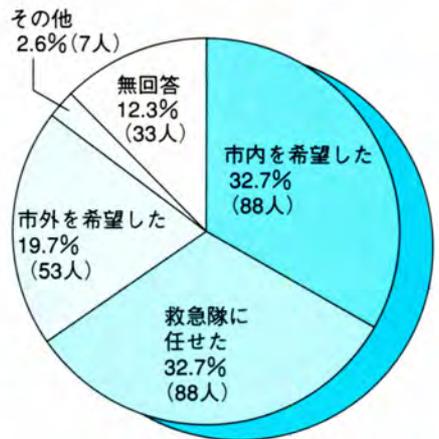
習得したい応急手当

署員の電話の応対では、的確だったと答えた人は半の五八・七％で、悪いはずか〇・四％（二人）でした。救急隊員の応対も、良かったが六九・九％、普通が二一・

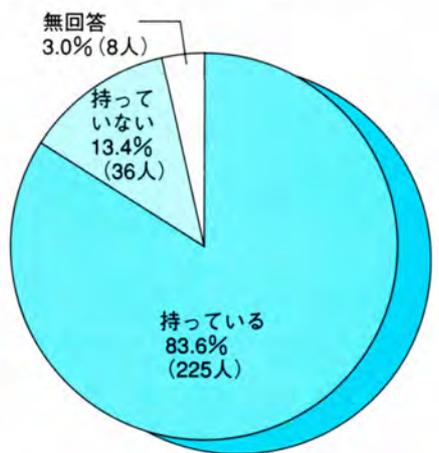
六％で、市民の信頼度は高いようです。

通報から救急車の到着までの時間については、普通とした人が最も多く三三・八％。遅く感じた人は一四・五％でした。通報してからの応急手当の

収容先の医療機関



掛かり付けの医療機関



救急活動に尽力する消防署員

有無では、四九・八％の人が全くできなかった（しなかった）と答えています。救命率を高めるには最初の応急手当が重要であり、この結果は憂慮されます。

しかし、応急手当の必要性については、七六・六％の人が認めており、講習会があれば受講したいと考えている人も六二・五％あります。今後、積極的な普及活動が求められています。

八割がホームドクター持つ
収容先の医療機関については、市内を希望した人と救急隊に任せた人がともに三二・七％でした。市外の医療機関を希望した人も一九・七％ありました。

このうち、市内外の医療機関を希望した理由は、掛かり付けだったからがトップで六

八・一％。以下、大病院に行きたかったから一五・六％、信頼できるところに行きたかったから一〇・五％などとなっています。

収容先の医療機関は、すぐ決まったのは七六・六％。なかなか決まらなかったは二・二％でした。本人の希望どおりの医療機関に収容された人は、六八・四％です。

収容された医療機関で継続して治療を受けた人は七四・〇％。そうしなかった人は一八・六％（50人）で、内訳は収容先から他の医療機関へ送られたケース（転院搬送）が最も多く五八・〇％（29人）。自ら他へ移ったのは二〇・〇％（10人）でした。軽症でどこにも掛からなかった人も二〇・〇％（10人）います。

自分で医療機関を移った10人のうち7人は市外医療機関を利用しています。

掛かり付けの医療機関の有無では、八三・六％の人が持っていると答えており、ホームドクターの重要性は浸透していることがうかがえます。ないと答えたのは一三・四％でした。

救急に対する意見では、救急隊員への感謝を示したものが92人と目立ちます。次いで、市外の病院への直送を希望する声は18人、総合病院が欲しいとする声も6人あるほか、応急手当の講習や救急救命士の配置を望む意見もみられます。消防本部では、この結果を参考にして、関係機関と連携して救急体制の充実強化に努めていきます。



第1号の「大野市報」

市民の皆さんとのパイプ役、41年余り

「広報おおの」は 今月で600号を迎えました

「広報おおの」は、今月号で600号となりました。

創刊は市制発足の昭和29年7月。以来41年余り、行政と市民の皆さんとのパイプ役として毎月お届けしてきました。手前味噌ですが、このページでは広報のあらましについてご紹介します。

◆ ◆ ◆
広報の第1号は昭和29年7月25日に「大野市報」として発行。表題はその後、「市政大野」や「市政おおの」と変わりました。

平成元年には、30年近く続いた横書きスタイルを一新。A4判の縦組みにするともに、表題も「広報おおの」に改めました。

◆ ◆ ◆
毎号の発行内容（企画特集など）は秘書広報課で検討し、紙面割りを決めてから取材や写真撮影を行います。その後、

原稿やレイアウトをパソコンに入力。編集委員会でみだしや文章などを総合的に協議してから、決裁を取って印刷渡しとなります。さらに校正を2回経て納品。区長さんを通じて皆さんのご家族にお届けしています。

独自制度に編集委員

◆ ◆ ◆
当市独特の制度に「市報編集委員」があります。これは創刊以来続いているもので、民間の有識者を委嘱しています。現在は3人です。

行政の一人よがりを防ぐだけでなく、極力市民の皆さんの意向も反映させることがねらいです。行政と市民が共同で広報の編集にあたるという例は少ないようです。

委員の皆さんには、毎月の編集委員会で広報全般について指導・助言を行ってもらうとともに、「風見鶏」の執筆もお願ひしています。

◆ ◆ ◆
現在の委員は次のとおりです。（敬称略）

◆ 木下 昭夫（春日三丁目）

◆ 小林 寿子（水落町）

◆ 朝比奈威夫（日吉町）

◆ これからも皆さんと行政のキャッチボール役として、少しでも親しまれる広報に努めます。ご意見や身近な話題などをお寄せください。



土手塚史郎さん
(49歳、中野)

広報を媒介に もつと市民参加を

◆ ◆ ◆
編集はすっきりしており、分かりやすい紙面だと思います。いつも表紙の写真と風見鶏を最初に見ます。予算や決算などの記事は、内容的にとつきにくいので、数字の羅列だけでなく、

◆ ◆ ◆
ビジネスになるよう工夫してほしいです。予算などは目玉を掘り下げて、分かりやすく解説してあると親切です。これからの広報は上意下達ではなく、いかに市民を参加させるかが大切です。写真や文章の得意な市民もいると思いますので、そういう人を発掘して、例えば表紙の写真や依頼するなど、広報協力を設けるとおもしろいのでは。広報を媒介にして、行政と市民との話し合いや問題提起が行われるようになれば素晴らしいですね。

広報紙に期待します



田中 茂子さん
(42歳、高砂町)

内容が豊富で 毎号を楽しみに

◆ ◆ ◆
毎月楽しみに読んでいます。内容がバラエティに富んでおり、広報で初めて知る情報も多いです。

◆ ◆ ◆
最初に見るのは市民のページや私の宝などです。やつぱり自分の友人や知人が載って

◆ ◆ ◆
いないかと関心があります。お知らせ欄や健康通信・暮らしのアドバイザーも参考になることが多いので、よく読んでいます。生活に役立つ情報や市民登場があると、親しみやすいです。

◆ ◆ ◆
広報の愛読者は主婦層です。郷土料理や応急手当、健康法などをシリーズで載せたり、読者同士が交流できるコーナーを設けたりするのも一案だと思えます。

市長へのメッセージを募集します

テーマは「大野市のイメージアップを図るために」

市では、市民提案箱「やまびこ」「市政ホットライン」に続く新規広聴事業の第三弾として「市長へのメッセージ」を実施します。今月号の広報とおのと一緒に全戸配布し、九月いっぱい郵便での返送（切手は不要）を受け付けています。

今回、募集するテーマは「大野市のイメージアップを図るために」です。これまで当市にはいい素材がありながらややもすると対外的なイメージに乏しく、存在感が薄いといわれてきました。

大野市の素晴らしさ・魅力を市内外にアピールするとともに、私たち自身も一層自信と誇りが持てるようにイメージアップを図るためには、どんな施策やアイデアが考えられるでしょうか。

お配りした専用の用紙を使い、なるべく具体的にあなたの考えをお寄せください。内容はソフト面でもハード面でも結構です。記入に際しては、内容のほかに期待できる効果もお書き添えください。

皆さんからの手紙は、有識者を交えた審査会に諮り、優秀作品は公表・表彰します。具体的に対応可能な内容については、積極的に予算化して取り組んでいく方針です。

当市ゆかりの著名人の情報提供も求めています

前述のテーマのほかに、イメージアップに関連して、当市出身者あるいは当市とゆかりのある著名人に関する情報提供も求めています。

あなたの親類や友人・知人などで、県内外で活躍して

られる学者・芸能人・財界人などをご存じでしたら、ぜひお知らせください。

市政一般のご意見は「やまびこ」なごへ

市政一般に関するご意見などは、4月から実施している市民提案箱やまびこと市政ホットライン（☎65・2000）をご利用ください。係では速やかに対応処理し、結果は必ずご本人にも連絡してまいります。お問い合わせは秘書広報課（☎66・1111）内線440）へどうぞ。



当市のシンボル越前大野城と御清水

第17回参議院議員通常選挙は、7月23日投票が行われました。

当日は天候に恵まれたものの有権者の関心は低く、当市の投票率は選挙区五五・二八％、比例代表五五・二六％でした。これは昭和58年（第13回）の五五・一六％に次ぐ低い投票率となりました。ちなみに、前回（平成4年）の参議院選挙区の投票率は七七・六九％でした。

選挙の結果は左表のとおりです。



第17回参議院議員通常選挙の結果

投票率（選挙区）は五五・二八％

選挙の記録と候補者別得票数

- 当日の有権者数
 - 男 14,847人 女 16,863人
 - 合計 31,710人
- 【選挙区選出議員選挙】
- 投票者数と投票率
 - 男 8,363人 (56.33%)
 - 女 9,166人 (54.36%)
 - 計 17,529人 (55.28%)
- 有効投票 17,106票
- 無効投票 422票
- その他 1票
- 【候補者別の得票数】
- 当選 松村 龍二 182,078票
 - (大野市分 11,238票)
- 古川太三郎 122,522票
 - (大野市分 4,997票)
- 佐藤 正雄 22,091票
 - (大野市分 871票)

Herzlich Willkommen in ONO (ようこそ大野へ)

ドイツスポーツ少年団と交流



7月25日〜29日の5日間、ドイツスポーツ少年団のリーダー1人と団員8人が市内に滞在しました。団員たちは、市内の12家庭にホームステイして、日本の日常生活を体験。それぞれの家庭では、言葉が通じなくても身ぶり手ぶりで家族の一員として過ごしました。

日本の伝統文化を知るために、そばうち・もちつきや生け花・座禅などいろいろなことにも楽しそうに取り組みました。それでも、もちの味や正座は少し苦手ようです。団員たちは、滞在中、受け入れ家庭の人たちとすっきり打ち解け、交流を深めた5日間でした。

生け花、そばうち、飛び入りでお点前も披露



受け入れ家庭での交流

出発の朝、少し涙が



お別れパーティでおおのおどり

南六呂師に

青少年自然の家オープン

より快適に野外活動を



県が平成五年から南六呂師に建設を進めていた「奥越高原青少年自然の家」の一期工事が完成しました。

この施設は、昭和47年に開所した「奥越青少年の森」と同51年に併設された「奥越少年自然の家」を、改築とともに改名したものです。

建物は、鉄筋三階建てで管理、宿泊、研修部門が含まれています。延べ床面積は、五千七百六十九平方メートルとこれまでの約二倍。宿泊室は二十四部屋（洋室十六、和室八、百九十二人）、ほかに多目的ホールやスキー乾燥室、屋外には市街を一望するつどいの広場もあります。洋室は二段ベッドからシングルベッドに改められ、ゆったりしています。二期工事は、平成九年度完成予定で宿泊棟一棟が建設され、合計三百五十人が宿泊可能となります。

エキサイティング

スポーツ

情報

奥越マラソン大野大会

参加者募集

日時 11月19日(土)スタート午前10時30分(雨天決行)

受付会場 市民グラウンド

参加資格 小学5年生以上

(親子の部は4年生以下)

参加費 小・中学生400円

高校生500円、一般・親子1000円

申込方法 所定の申込用紙に

参加費を添えて(郵送は現金書留か郵便小為替で)

申込期間 9月20日(水)～10月

21日(金)(郵送は21日(土)必着)

申込・問合せ先 大野市教育

委員会体育課(大野市天神

町1-1-1 ☎66・1111

内線532)

※種目、スタート時間など詳細は大会実施要項をご覧ください。



世界体操鯖江大会まであと一カ月です。今回は、「一市町村一カ国交流事業」について紹介します。

市内での交流

当市には、スウェーデン男子選手が大会期間中の10月7～8日に訪れ、交流を深める予定です。

7日(土)は午後6時から歓迎レセプションが市民会館で開かれ、おのおのどりなどの郷土芸能や童謡を披露します。

8日(日)は七間朝市と大野城と寺町通りを散策し、武家屋敷内山家で選手が茶道に挑戦します。

市民の皆さんも選手を温かく迎えてくださるようお願い

サンドームで応援を

スウェーデン選手の団体戦規定・自由演技で、それぞれ五十人の市民による応援をする計画です。

10月2日(日)の規定演技は、阪谷小学校の児童が応援をします。

5日(土)6日(日)の自由演技については、次のおり一般市民から応援団を募集します。演技の時間帯については、4日(土)の規定演技終了後決定。

応援日程 10月5日(金)もしくは6日(土)午前9時～午後6時10分の間2時間

会場 サンドーム福井
乗り物 市役所からバスで
※出発時間は4日(土)に決定

定員 先着50人
参加料 無料
締切 9月20日(土)

申込・問合せ先 市企画開発課(☎66・1111内線432)まで

'95世界体操鯖江大会 募集ポスター(金賞)



みんながんばれ

織田小学校4年 石田 武くん

発疹について



かゆくてたまりません

慢性になる前に手当を

皮膚にぶつぶつができることだけが発疹だと思
っていませんか。発疹には、種類もさまざまあり、
その発生原因もいろいろです。かゆくて我慢ので
きない発疹。食物・衣類・清潔など日常生活に気
をつけて、発疹を防ぎましょう。

人間の皮膚は、平面にする
と大人で約1・6平方メートルに達
するのに、厚さは数ミリしかあ
りません。その数ミリの皮膚は、
表皮、真皮、皮下層に分かれ
ています。爪・毛・毛のう・
立毛筋・脂腺・汗腺などの付
属器管も含まれ、血管・リン
パ管・神経の網が張られています。

いろいろな症状

一般には、皮膚にぶつぶつ
が出ることだけが発疹と思わ
れています。しかし、肉眼で
見える皮膚に生じる病変のこ
とを発疹または皮膚疹と呼び、
次のように分類されます。

- ①皮膚面にあるもの 紅斑・
紫斑・色素斑・血管拡張
- ②皮膚面より隆起するもの
膨疹・丘疹・しこり・水
疱・膿疱・かさぶた
- ③皮膚面よりくぼむもの ピ
ラン・擦過・潰瘍・委縮
- ④発熱を伴う病気 発熱の一
く二日後に丘疹・水疱が出
るもの(はしか・風疹・
猩紅熱・腸パラチフス・発
疹チフスなど)

原因はさまざま

- ⑤ひび・あかぎれ
- ⑥にきび
- ⑦ヘルペス(皮膚に小水疱が
群がってできる)

発疹の原因は、発熱を伴う
ウイルスや細菌による伝染性
感染症、発熱を伴わないウイ
ルスによるヘルペス、食中毒
輸血疹、摩擦、かきむしり、
薬物やその他の刺激物、虫刺
されなどさまざまです。年齢
季節、発生部位による差異も
あります。よくみられる湿疹
でも、紅斑↓丘疹↓小水疱↓
膿疱↓ピラン↓かさぶたの経
過をたどるものは、急性湿疹
と呼ばれます。さらに急性の
炎症が皮膚の深部に達し、患
部の皮膚が厚くなってさらにざ
らになった状態は慢性湿疹と
いいます。



全身一面に赤い発しん

日常生活に

気をつけよう

皮膚の色の変化・発疹の性
質・場所・経過などをよく観
察して、かゆみや痛みを伴う
場合は医師の診察を受けまし
よう。

香辛料・高脂肪食を避け、
ビタミンA・B・Cを多く含
んでいる果物や野菜を取りま
しょう。

衣類は脱着に便利で吸湿性
の良い木綿製の物などにしま
しょう。

爪は短く切り、よく手を洗
って清潔に心掛け、二次感染
でひどくならないように気を
つけましょう。



ビタミンを多く含んだバランスのよい食生活

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター (☎65-7333)

リンゴの表皮に白い粉 ご心配は無用 果実が分泌するろうです

リンゴに付いている白い粉を農薬だと思つていいませんか。いいえ、これはリンゴ自身から出てくるろう物質で無害です。保存するうえでも必要なものですし、食べごろの目安にもなります。安心しておいしいリンゴを食べましょう。

白い粉は「果粉」です

リンゴの表皮に白い粉が付着してベトベトしているときがあります。これは何かというと、「果粉」といい果実自身が分泌したろう物質です。キャベツなどの葉の表面にも見られますが、果粉の量が多く分泌されるのはやはり果実です。

水分を保つ働き

リンゴの果実の表面には内部を保護するクチクラ層があり、その最も外側に果実の成熟とともに分泌された果粉が集積していきます。品種によっては、収穫後も果粉の集積が続くものがあります。

果粉には水分の蒸発を防ぐ働きがあります。しかし、こすると簡単にはがれ、果皮色が鮮やかになるため、リンゴを磨いてピカピカにして販売しているのを見かけますが、



保存上はあまり好ましくありません。

リンゴの種類によっても果粉の分泌量が異なるようです。ジョナゴールドや津軽などの品種では分泌量が多いため、表面がヌルヌルになることもあります。味覚的には、このベトつきを感じるくらいの方が一番おいしいようです。

リンゴの上下のくぼみに白い粉がついていることがあります。これは、石灰硫黄合剤という農薬の残留物です。収穫の一カ月ほど前に、早く熟して収穫後は腐らないように使われるものです。この粉は水で簡単に洗い流せます。

ワックスは使いません

ミカンやオレンジではワックス処理してあるものを見かけますが、通常リンゴはワックス処理をしません。ミカンやオレンジのワックスについては、厚生省は四種の化学合成皮膜剤を食品添加物として認めています。ほかにも、天然のワックスとして松やにや南米産のカルナバの木から採るろう成分があります。

これからはリンゴのおいしくなる季節です。商品知識として覚えておきましょう。

プラス1

野菜についている果粉は「ブルーム」とも呼ばれています。ブルームはキュウリ・トウガンなどによくみられます。1日の気温の差がないときに発生し、表皮からの水分の蒸発を防ぐ役割をします。

キュウリの場合は、果粉の無いブルームレスという品種が出ていますが、皮が固くておいしさには今一つという声もあります。

市民のページ

■この「ページ」では市民の皆さんの活動ぶりやご意見などを紹介します。あなたもページに参加しませんか。連絡先 市役所秘書広報課（☎66・1111）

今月のスナップ



エイホ、エイホ、かごかき大会

大野市身体障害者連合会

ぐるーぷ登場

障害者の福祉向上を目指して

このほど市身体障害者連合会に会旗ができました。今年の二月に亡くなり会員だった巖教也さん（伏石）の家族から香典の一部を「連合会のために役立ててください」と、寄付していただいたのを受けて作られたものです。大きさは縦七十センチ、横一メートルで、色は濃い青、市章が中央に白く描かれ金色の糸で縁取られています。

市身体障害者連合会は、障害者の福祉向上と加盟各団体の連絡調整を目的として、昭和三十五年に結成されました。加盟団体は、視力障害者福祉協会、聴覚障害者福祉協会、肢体協会、傷痍軍人会、心身障害児（者）育成会の五つです。各団体には、自分自身は障害を持っていないけれども、障害者とともに活動し、障害者

の失った機能を手助けしようとする協力団体もあります。点訳や音訳ボランティアグループ、手話サークルなどです。連合会の年間の主な活動は二つあります。市福祉スポーツ大会では、体力の維持増強や残存機能の向上を図るとともに明朗で積極的な性格と協調性を築き、会員相互の交流を深めています。市身体障害者福祉大会は、多くの市民も参加して、身体障害者に対する更生援護について理解と協力を深めようというもので、いろいろな体験発表などが行われます。

会長の砂子三郎さん（本町）は、「連合会のシンボルともいえる会



会旗と手話サークルのみなさん

旗ができてうれしく思っています。今後は、各協会の会員増加、特に若い年代の加入促進が必要で、障害者が地域で生活しやすいように、環境の改善などにも取り組むみたい」と話しています。



お祭り大好き おのおどりで笛音頭

おの城まつりも回を重ねて今年で28回。今回、城まつりの歴史より若い二人が、おのおどりで生音頭の笛を担当しました。

山田さんと吉田さんが生音頭に参加したきっかけは、二人ともとにかくお祭りが大好きで、おのおどりの伝統を守りたいと思ったからです。生



吉田早希さん（24歳・若杉町）右
山田和代さん（23歳・陽明町）

音頭の保存会でも若い人を探していたところでした。練習は、6月下旬から毎週一回続けてきました。メンバーは、五十歳代が中心でベテランぞろい。二人ともサツクスホーンの経験はありますが、笛は初めてです。思っていたより難しく、なかなか音が出ませんでした。でも、熱心な指導で、かなり音は出るようになりましたが、三味線の音に合わせるの難しかったようです。

初舞台は、8月14日のおどりコンクールでした。最初は、間違えてはいけないと緊張しました。それでも、すぐに雰囲気慣れて見事に役を果たしました。城まつりを終えて「おのおどりに参加しているという実感がわき大変楽しく演奏ができました。来年もまた頑張りたいです」と二人は満足そうでした。



駅前立派な駐輪場が整備され喜んでいますが、多くの自転車

が放置されたままで場所を取っています。さびたものやパンクしたものも多いようなので、使用されないで放置されている自転車を撤去してください。

せっかくの施設ですから、マナーを守って利用するように市でも指導してください。

(市政ホットラインに寄せられたご意見から紹介しました。)

私もひとごと



駅前駐輪場の放置自転車を撤去して

市営自転車駐輪場(駐輪場)は平成四年にJR越前大野駅

前に設置されました。約三百台の自転車が駐車可能で、通勤・通学者の利用が多く、毎日満車状態です。

市では、毎朝、整理・清掃に人員一人を配置して管理に務めています。最近放置自転車が目立つようになってき

ました。放置自転車は、見た目にも悪く、利用スペースが減るなどほかの利用者の大変な迷惑となっています。

放置自転車は所有者に対して撤去命令ができます。所有者が不明の場合には、一定期間告示した後、市が処分できることになっています。

市では、昨年放置自転車の防犯登録を基に所有者を調査

うんちをは

大野の地下水を蘇生させよう

柴崎達雄

さん(62歳・新潟大学理学部教授)

柴崎教授は、8月2日から6日までの間、新潟大学理学部自然環境科学科社会人コー

スの学生7人と市内に滞在して、地下水の調査を行いました。この調査には、地下水に関心を持つ市民も参加して御清水や本願清水、水源かん養地の木本地区などを一緒に現地調査しました。

大野へは、昭和57年ころから毎年2〜3回調査のため訪れています。きっかけは、ある市民から地下水について話を聞き、大野が水について重要な問題を持っていると考えたからです。その一カ月後には、学生とともにやって来ま

そせい

4日には、市職員を対象に「地下水を蘇生させる総合的プラン」について研修会を開き、地下水の現状と蘇生させるための原則を説明しました。「大野は、決して地下水が豊富ではありません。水の使い方も粗雑に見受けられま

す。地下水の保全には、まず節水が最も重要です」と、厳しい提言もありました。

大野の印象については、「そば・里芋の煮っころがし・しょうゆがおいしいです。インドネシアに滞在していたときには、年末に大野のそばを送っていただいて、年越しそばを食べました」と、話しています。



し、撤去を連絡しました。それでも、所有者不明の自転車もあり、依然として放置自転車は多い状態です。

今後は、所有者の分かるものは、撤去を書面で通知します。所有者不明のものは、所定の手続きを経て市で処分する予定でいます。

放置自転車は、利用者の心掛けでなくならず、市民一人ひとりの協力で、利用しやすい自転車駐輪場を保ちましょう。(生活環境課長)

投稿規定

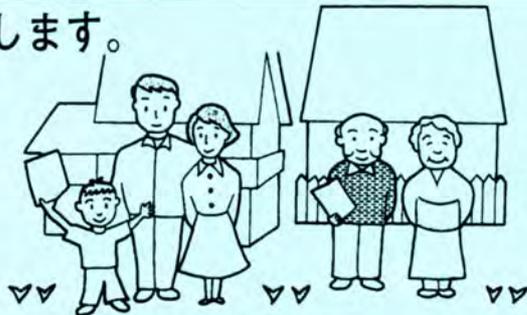
市政についての質問や意見などを、ハガキでお寄せください。「住所・氏名・年齢・電話番号」を必ずお書きください。紙上匿名は自由ですが、住所・氏名のないものは採用できません。

原文を一部要約することがあります。あて先は、「〒912 大野市天神町一丁目 市役所秘書広報課広報広聴係」です。

一戸一戸に調査票をお届けします。

国勢調査にご協力を。

調査票は17項目。届いたら早めにご記入を



国勢調査

平成7年10月1日(日)

9月下旬から調査員がお伺いします。総務庁統計局・福井県・大野市

少年消防クラブ夏季研修会 防ごう火災私たちの手で



夏休み中の7月28日、火災予防の訓練と防火意識の向上を図るため、少年消防クラブ夏季研修会が有終会館で開かれました。市内の各小学校から児童88人が参加。実際に消火器で火を消したり、ロープを使ってレスキュー体験をしたりして防火活動の訓練をしました。暑い中、児童たちは汗を流して一生懸命でした。

秘書広報課広報広聴係 ☎66-1111

現代美術展 水の波紋95「奥越」



9月に東京で開催されている「水の波紋95」の作品が、8月9日～16日、有終会館で展示されました。作者はカブリタ・レイス（ポルトガル）さんとフェデリコ・フージー（イタリア）さんです。2人は、2週間市内に滞在して、自然や風景を題材に数々の作品を製作。市民は、普段、見ることのできない現代美術に興味深く観賞しました。

夏を遊んで大きくなった アウトドアグラウンズ'95



「森と湖に親しむ旬間」の一環として、7月29～30日、麻那姫湖青少年旅行村の中島を中心に「おおのアウトドアグラウンズ'95」が今年初めて開催されました。市内外から家族連れや若者たち約5000人が訪れ、アウトドアライフを満喫。珍しいインディアンの移動式住居ティピイも設営されました。カヌーや火おこしなどの体験教室も開かれ、魚の手づかみは、子供たちに大人気でした。

話題の広場

話題の広場



みんなで楽しんだおおの城まつり

夏の一大イベント第28回おおの城まつりが8月13日から16日までの4日間、六間通りを中心に開かれました。今年からおおのおどりの期間が短縮されたにもかかわらず約八万五千人が夜遅くまでおどりを満喫しました。好評の花火大会や唄う名人戦にも多くの人が詰め掛け、夏の夜のひとときを楽しみました。



市清掃センター 有害金属を固めて環境保全

市清掃センターに集塵灰固形化設備が完成しました。この設備は、ごみ焼却後、集塵機で捕集した飛灰を薬剤処理することにより、飛灰に含まれている鉛などの重金属類が、雨水などに触れたときに溶け出さないようにするものです。一日8時間当たり約400^{kg}を処理。設置が義務付けられていない平成4年以前のごみ焼却施設では県内初です。

身近な話題をお知らせください。



夏バテに負けないよう 独り暮らし老人に給食サービス

8月8日、下庄公民館で市内の学校給食調理員15人が、独り暮らしの老人のための昼食を作りました。夏休み期間を利用してボランティアで市の給食サービスに参加したものです。下庄地区の老人55人分を調理。メニューは栄養のバランスを考えたお年寄り向けのものです、いつもの給食の腕前を振りました。



終戦50年企画展 忘れてはいけない戦争体験

8月12日〜27日の間、産業文化展示館で終戦50周年企画展「戦時中のくらし」が開かれました。市民から寄せられた市内に残る戦時中の貴重な品々約二百五十点を展示。教科書・雑誌、防空ずきん、千人針などから当時の生活や社会の様子がうかがえます。訪れた人たちは、感慨深く見入っていました。



歩き、見て、触れる古い道 桃木峠を訪ねて

7月30日、市民約30人が参加して金山から桃木峠を通って上打波の嵐までを歩きました。これは、古い道を歩くことによって周辺の史跡や文化財に触れようというものです。参加者たちは、初めて見る市天然記念物の桃木峠の大杉や峠地蔵・オウレン畑などに見入っていました。自然の中の道は大変好評でした。

お知らせ 9月



●市民大学国際教養 コース英会話講座

日時 9月27日(水)～12月13日
 (※原則として毎週水曜日午後7時30分～9時 計12回
 ※12月9日(土)は手作り料理パーティーのため午前9時～午後4時

場所 有終会館

対象 18歳以上の市民

内容 中級英会話(中学二～三年程度)

講師 市内の中学・高校に派遣されている外国人の先生

定員 40人(先着)

受講料 2000円

申込締切 9月20日(水)

申込・問合せ先 市教育委員会
 社会教育課(☎66・1111内線542)まで

●戦没者等の特別弔慰 金が支給されます

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法が改正され、戦没者等の遺族のうち平成7年4月1日現在において、公

務扶助料・遺族年金などの受給権を有する遺族がいない人を対象に特別弔慰金として額面四十万円、十年償還の国債が支給されます。

対象者 ①弔慰金受給権を取得した人②弔慰金の受給権を取得した人が平成7年4月1日にいない場合は、そのほかの先順位の遺族の人のほかの先順位の遺族の

請求・問合せ先 市福祉事務所(☎66・1111内線473)または県福祉政策課

21・1111内線2515・2516)まで

恩給法の改正により、本年7月1日から傷病賜金(目症)の要件が緩和されました。これにより、下士官以下の旧軍人で公務により受傷し、その障害が第一目症または第二目症の人に、傷病賜金(一時金)が支給されることになりました。

支給額は、第一目症48,000円、第二目症32,000

0円です。

過去に傷病恩給や傷病賜金を受けたことがある人は、対象になりません。

問合せ先 県福祉政策課恩給

援助係(☎0776・21・1111内線2516)ま

で

無料登記法律相談

10月1日は「法の日」です。県司法書士会と県土地家屋調査士会では、無料登記法律相談所を開設します。

お気軽にお越しください。お日時 10月1日(日)午前10時～午後4時

●無料登記法律相談

10月1日は「法の日」です。県司法書士会と県土地家屋調査士会では、無料登記法律相談所を開設します。

お気軽にお越しください。お日時 10月1日(日)午前10時～午後4時

会場 有終会館

相談内容 土地や建物の登記、訴状・差し押さえなど

裁判所へ提出する書類、法人の設立や変更の登記、地代や家賃の供託

テキスタイルフェア

●テキスタイルフェア

9月30日(土)・10月1日(日)午前10時～午後5時

会場 有終会館多目的ホール

内容 展示・即売会(両日)

午後2時と3時30分の2回

入場料 無料

問合せ先 大野織物工業組合

高齢者の交通安全



③身体機能の衰えに対する自覚が少なく、無理をしがちである。
 ④道路状況の変化や交通ルールの変更など新しい環境への適応がしにくい。

①視力の低下により判断の確さを欠いたり、反射神経が鈍くなり瞬時の反応が遅れたりする。
 ②運転が自分本位になりやすく、交通環境を客観的に把握しにくい。

③体力の衰えにより、運転操作が不的確になったり、長時間にわたって運転することが困難になる。
 交通弱者である高齢者を交通事故から守りましょう。

●図書館が休館します

図書館では、利用者の便宜を図るため、貸出・返却にコンピュータの導入を計画しています。準備として、すべての蔵書の点検とバーコードの貼付のため、9月25日(月)～10月31日(火)の期間休館をします。

貸出中の本は、必ず期日までに返却してください。

ご迷惑をおかけしますが、よろしく願います。

11月については1日(水)から

石灯籠地蔵尊祭り

9月3日(日)午後11時～

石灯籠地蔵尊前

市民課窓口と玄関ホールを改修

市では、市民の皆さんが利用しやすいように市民課窓口をオープンカウンターにします。玄関ホールはイトヨの水槽を設置して、イトヨを身近に観察できるようにします。

工事期間は、9月下旬から11月下旬までを予定しています。工事中は、市民課が仮設の事務室に移

転したり、正面玄関が使用できなくなったりします。市民の皆さんにはご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

完成後は、市役所の玄関が明るい雰囲気になり、市民に親しみの持てる市役所に衣替えます。

仮設の事務室など詳しくは、10月号でお知らせします。



●市総合文化祭 出演者と作品を募集

第29回市総合文化祭が11月1日から3日まで、有終会館と市民会館で開催されます。文化祭実行委員会では、芸能部門の出演者と展示部門の作品を次のとおり募集します。

芸能部門 個人または団体の演奏、民謡、踊りなど

展示部門 絵画、書道、工芸、写真、その他（出品点数や

作品の規格は自由）
出演・出品料 無料
締切 芸能部門 9月8日金
展示部門 10月13日金

●勤労青少年ホーム テニスコート

日時 9月18日(月)・22日(金)・29日(金)・10月2日(月)午後7時～9時 ※雨天決行

場所 エキサイト広場大屋根
内容 初心者対象、基本からゲームまで
準備物 ラケット、シューズ
運動のできる服装
定員 15人
受講料 500円
締切 9月14日(木)

●国民年金基金相談所

日時 9月27日(水)・28日(木)午前10時～午後3時

場所 有終会館一階107号室
内容 国民年金基金の相談
問合せ先 市市民課年金係
(☎66・1111内線455)まで

●健康ウォークと 骨密度検査

〔健康ウォーク〕
日時 10月10日(火)午前8時30分～午後3時
※雨天決行

集合 エキサイト広場正面
コース 6キロと8キロ、真名川グラウンドでマレットゴルフ体験とはかって元気コーナー
持ち物 昼食・水筒・雨具
定員 200人
締切 10月6日(金)

全員に参加賞があります。

〔骨密度測定〕
日時 10月14日(土)正午～午後2時
場所 有終会館3階
定員 先着20人
申込・問合せ先 保健センタ
ー(☎65・7333)まで

●フリーマーケット 出店者募集

「下庄まつり」の中で、フリーマーケットのコーナーが設けられます。

家庭などに眠っている不要品を、必要としている人に安価で販売するリサイクル運動の一つです。出店方法は次のとおりです。
日時 10月22日(日)午前9時～午後3時
販売方法 主催者が用意したテント内に品物を持参し、各自で値段をつけて販売
売値の目安 ▼入手1年以内で未使用 価格の3分の1
▼入手1年以内で使用済み 価格の4分の1以下
その他 価格の5分の1以下

販売できない品物 故障品、生き物、盗品、酒、たばこ、化粧品
申込期限 10月13日(金)
問合せ先 下庄公民館
(☎66・2142)まで

●お座敷列車 「大野市民号」

今年のお座敷列車「大野市民号」は、一泊二日の淡路島の旅です。越美北線利用促進事業の一環として行われるもので、費用の一部を市が助成します。

参加受付は9月25日(月)から29日(金)までです。申込者が多い場合は抽選とさせていただきます。

旅行日 11月9日(木)～10日(金)
行き先 兵庫県淡路島
集合 午前8時30分までにJR越前大野駅
対象 18歳以上の市民(幼児の同伴はできません)
定員 150人
費用 一人3万8700円(内一人7000円助成)

申込方法 個人またはグループ(5人以内)で、所定の申込用紙を提出ください。
申込期間 9月25日(月)～29日(金)
その他 ▼申込用紙は、9月11日(日)から市生活環境課もしくはJR越前大野駅に用意▼抽選になった場合、当選された方に連絡します。

申込・問合せ先 市生活環境課(☎66・1111内線462)まで

市民のうごき

	8月1日現在	前月比
世帯数	11,433世帯	17世帯
人口	41,639人	8人
内訳	男	△1人
	女	9人
7月中の異動	転入	78人
	転出	80人
	出生	28人
	死亡	18人

市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成7年 7月末	平成6年 7月末	増減
総件数	322件	324件	△2件
人身事故	件数	81件	88件
	死者	0人	1人
	傷者	106人	114人
物損事故	241件	236件	5件

表紙のうごき

県オフロードジャンボリが8月14・15日、森山スキー場で開かれました。県内外からオフロード走行の愛好者が多数参加。オートバイの3時間耐久レースや四輪駆動車による悪路走行トライアルなどがあり、観客も一体となって声援を送っていました。

編集後記

「広報おの」は今月で600号となりました。これもひとえに、皆さんの温かいご支援のたまものとお礼申し上げます。つたない編集で心苦しいばかりですが、今後ともご指導とご協力のほど、切にお願いいたします。今号から表紙の体裁を少し変えました。(H)



糸魚町の小川聰子さん(62歳)の宝は、長生きで大きな金魚です。体長は約三十五センチ、色は全体的に白で、頭から背中にかけて少し赤くなっています。尾ひれと背びれが非常に長く、特に尾ひれの長さは十五センチくらいあり、まるで振りそでのようです。池の中でもコイに負けないような大きさで元気に泳ぎ回っています。

この金魚は、二十年以上池の中で生きています。昭和四十九年に住宅を新築して庭に池を作りました。このとき、市民会館で開かれた市の農林業祭でコイを探していたら、かわいいこの金魚がいたのでつい一緒に買ってしまいました。当時は、十センチくらいの大きさでしたので、こんなに大きくなって、長生きするとは思ってもみませんでした。

金魚に詳しい人によると、多分、コ

9 大きくて長生きの金魚

小川 聰子さん(糸魚町)

※係では、このコーナーの話題を募集しています。



「長生きをしてほしいです」と小川さんは、話していました。



毎年、千歳以上の山に登り、千支の山に登る会に属している。今年は一月に神奈川県猪頭山(一千二百三十)

に登ってきました」と話すAさん(男性)は93歳。生き生きした顔と、てきぱきした動作や歯切れよい口調に老いのかげはみられない▼「毎日が楽しくて楽しくて」と言うKさん(女性)も93歳。施設に入所以来、十四年間病気をしたことは一度もない。「午前三時に目が覚めると、周りの人を起こさないように小声でお経をあげるんです。風邪や腹痛も売薬一服で治るから医者にかかったことはありません」と話す。長い廊下のモップかけ、共同の洗面所磨き、トイレ掃除も日課である。その上、七坪ほどの畑で花や野菜を作っている▼塗装技術に熟練しているTさんは酷暑の日でも敦賀や白鳥方面まで従業員と一緒に出勤し、現場でバリバリ仕事の監督をする現役の86歳である▼若者も顔負けの三人に共通するのは、「自分で生きがいを見つけ、自分のペースを崩さず、毎日リズムに乗って行動し、食べ物に好き嫌いはなく間食もしないし、一日一日感謝で暮らし、腹を立てない」とことである▼人生八十年代を迎え高齢化社会にも拍車がかかり、大野市でも八十歳以上は約一千八百人である。老いの道はすべての人の通る道。好むと好まざるにかかわらず必ず訪れる老いをどう受け止め、どう生き抜いていくかなど、人生の先輩たちの素晴らしい姿に学ぶべきことが多い。(H)